平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年２月４日

上 場 会 社 名　　パウダーテック株式会社　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　5695　　URL　http://www.powder-tech.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　隅田　洋
問合せ先責任者　（役職名）　取締役経営管理部長　（氏名）　徳重　秀人　　(TEL) 04-7145-5751
四半期報告書提出予定日　　平成25年２月14日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	7,101	△6.3	792	△12.0	796	△10.5	461	3.2
24年３月期第３四半期	7,582	4.8	899	△5.9	890	△4.9	447	△14.4

(注) 包括利益　25年３月期第３四半期　455百万円(　2.0%)　24年３月期第３四半期　446百万円(△14.9%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	31.13	―
24年３月期第３四半期	30.17	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	9,616	6,535	68.0
24年３月期	9,591	6,228	64.9

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　6,535百万円　　24年３月期　6,228百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	0.00	―	10.00	10.00
25年３月期	―	0.00	―		
25年３月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△5.9	940	△15.6	900	△18.6	530	△7.2	35.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	14,850,000株	24年３月期	14,850,000株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	23,482株	24年３月期	22,883株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	14,826,663株	24年３月期３Ｑ	14,827,318株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における経済情勢は、欧州の債務危機の長期化に伴う景気後退、新興国の経済成長の鈍化、さらに米国経済も回復には至らず低調に推移いたしました。いっぽう国内は、年末にかけては円安に転じてきたものの累計期間を通しては円高や輸出不振が続き景気の先行きには依然として不透明感が残っております。

このような厳しい経済環境のなか、電子写真用キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機の市場環境も不透明な状況が継続いたしました。

脱酸素剤が使用される食品業界は、震災後少しずつ回復しておりましたが、夏期に入り減速傾向となりました。鉄粉の主要用途であるカイロにつきましては生産調整等により前年同期を下回る需要となりました。

これらの市場環境を反映して、当第３四半期連結累計期間の売上高は前年同期比6.3%減少の7,101百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の販売減少により、営業利益は792百万円（前年同期比12.0%減）となり、経常利益は796百万円（前年同期比10.5%減）となりました。四半期純利益は法人税等の法定実効税率が下がり税金費用が減少したこと等により、461百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①キャリア事業

当セグメントにおきましては、前年同期におけるお客様での震災後の安全在庫確保の動きが一段落したことと、一部お客様の在庫調整などもあり、売上高は4,906百万円（前年同期比6.9%減）となりました。セグメント利益は、継続的なコストダウンの成果はあったものの、減販損とエネルギー価格の高騰が大きく影響し949百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

②鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品は前年同期並の販売となりましたが、カイロ用鉄粉の販売減により、売上高は2,195百万円（前年同期比5.1%減）となりました。セグメント利益は、生産効率化によるコストダウンに引き続き努めましたが、減販損が影響し143百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、主にたな卸資産の減少により、76百万円減少いたしました。固定資産は、キャリア製品製造設備等の設備投資を行いましたので、101百万円増加いたしました。以上により、総資産は24百万円増加し9,616百万円となりました。

負債は、未払金とリース債務が減少しましたので、282百万円減少し3,080百万円となりました。借入金は前連結会計年度末と同額の490百万円となっております。

純資産は、307百万円増加し6,535百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.1%増加し68.0%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月5日に発表しました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,964千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	351,183	354,236
受取手形及び売掛金	1,207,893	1,500,248
商品及び製品	1,089,786	903,046
仕掛品	722,017	690,094
原材料及び貯蔵品	340,580	365,488
繰延税金資産	125,284	124,434
預け金	569,572	362,281
その他	25,458	55,014
貸倒引当金	△596	△570
流動資産合計	4,431,181	4,354,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,463,650	3,593,543
減価償却累計額	△2,262,681	△2,335,752
建物及び構築物（純額）	1,200,968	1,257,790
機械装置及び運搬具	5,951,864	6,556,777
減価償却累計額	△5,031,664	△5,239,304
機械装置及び運搬具（純額）	920,199	1,317,472
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	1,636,842	1,640,225
減価償却累計額	△1,146,596	△1,253,445
リース資産（純額）	490,245	386,780
建設仮勘定	413,548	120,184
その他	345,911	412,058
減価償却累計額	△302,439	△323,982
その他（純額）	43,471	88,076
有形固定資産合計	4,928,632	5,030,503
無形固定資産		
その他	1,865	1,865
無形固定資産合計	1,865	1,865
投資その他の資産		
投資有価証券	15,516	16,038
繰延税金資産	172,235	172,077
その他	60,515	60,888
貸倒引当金	△18,643	△19,368
投資その他の資産合計	229,623	229,635
固定資産合計	5,160,121	5,262,004
資産合計	9,591,302	9,616,278

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	700,271	897,034
1年内返済予定の長期借入金	98,000	98,000
リース債務	139,318	100,522
未払金	568,215	372,485
未払法人税等	157,375	151,123
未払事業所税	16,966	12,749
未払消費税等	54,813	37,968
賞与引当金	181,466	119,365
役員賞与引当金	24,000	－
その他	189,537	185,946
流動負債合計	2,129,963	1,975,195
固定負債		
長期借入金	392,000	392,000
リース債務	353,842	289,089
長期未払金	－	35,122
退職給付引当金	424,671	382,977
役員退職慰労引当金	56,262	－
環境対策引当金	5,900	5,900
固定負債合計	1,232,676	1,105,089
負債合計	3,362,640	3,080,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	3,127,869	3,441,148
自己株式	△6,218	△6,372
株主資本合計	6,244,651	6,557,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△146	190
為替換算調整勘定	△15,842	△21,973
その他の包括利益累計額合計	△15,988	△21,782
純資産合計	6,228,662	6,535,993
負債純資産合計	9,591,302	9,616,278

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	7,582,972	7,101,993
売上原価	5,696,343	5,347,549
売上総利益	1,886,628	1,754,443
販売費及び一般管理費	986,773	962,440
営業利益	899,855	792,003
営業外収益		
受取利息	2,098	3,143
為替差益	－	10,146
助成金収入	9,809	－
その他	6,516	12,008
営業外収益合計	18,424	25,298
営業外費用		
支払利息	5,131	3,770
為替差損	3,570	－
債権売却損	17,201	14,644
その他	2,022	1,955
営業外費用合計	27,926	20,370
経常利益	890,353	796,931
特別利益		
有形固定資産売却益	－	1,259
特別利益合計	－	1,259
特別損失		
有形固定資産除却損	46,685	19,092
投資有価証券評価損	963	－
特別損失合計	47,648	19,092
税金等調整前四半期純利益	842,705	779,098
法人税等	395,301	317,548
少数株主損益調整前四半期純利益	447,403	461,549
四半期純利益	447,403	461,549

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	447,403	461,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	588	337
為替換算調整勘定	△1,139	△6,131
その他の包括利益合計	△550	△5,793
四半期包括利益	446,852	455,756
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,852	455,756

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
売上高					
外部顧客への売上高	5,270,384	2,312,587	7,582,972	―	7,582,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	5,270,384	2,312,587	7,582,972	―	7,582,972
セグメント利益	1,061,830	147,297	1,209,127	△309,272	899,855

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△309,272千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△308,479千円及び棚卸資産の調整額△793千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	キャリア事業	鉄粉事業	合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
売上高					
外部顧客への売上高	4,906,325	2,195,667	7,101,993	―	7,101,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	4,906,325	2,195,667	7,101,993	―	7,101,993
セグメント利益	949,461	143,870	1,093,331	△301,328	792,003

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△301,328千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△301,216千円及び棚卸資産の調整額△112千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．　報告セグメントの変更等に関する事項

（１）　測定方法の変更

平成24年４月１日から、従来全社費用としていました「品質保証等に係る費用」については、各セグメントの経営成績の実態をより的確に把握することを目的に業績管理手法を見直した結果、キャリア事業に直課する方法に変更いたしました。これにより、当第３四半期連結累計期間のキャリア事業のセグメント利益が56,777千円減少し、同額調整額が減少しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しており、前第３四半期連結累計期間の「１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

（２）　会計方針の変更等

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の「キャリア事業」のセグメント利益が9,099千円増加し、「鉄粉事業」のセグメント利益が861千円増加しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。